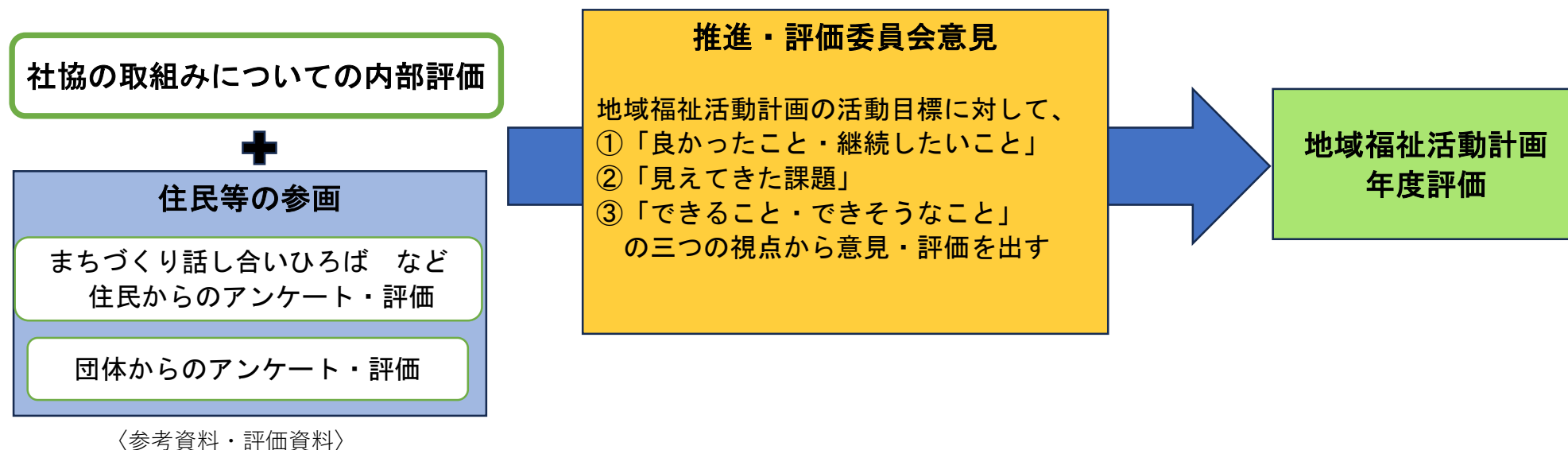


【第 5 次地域福祉活動計画】



【変更点】

地域に暮らす住民一人ひとりや、多様な団体・機関の力を活かしながら、“目指す地域の姿”をみんなでつくり上げていく“共創”の計画であることをふまえ、住民・団体からの声を取り入れる。また、「良かったこと・継続したいこと」「見えてきた課題」「できること・できそうなこと」の三つの視点から、地域福祉活動計画の活動目標に対する意見・評価を出し、推進・評価委員会においてまとめ、年度評価としていく。

【～第4次地域福祉活動計画】



* 第 4 次地域福祉活動計画評価について

評価方法は、取組状況を数値で表す「アウトプット」、サービス等の運用の効果を表す「アウトカム」を設定。社協事務局において、10の事業目標ごとに個別評価を実施。推進・評価委員会にて基本目標の2点を評価した。評価方法は、個別評価を取りまとめた評価表を用いて評価した。アウトカムの評価点については、「取組みの成果があり、一層推進する」「維持継続して実施する」「成果等が不十分のため、さらに注力する」の3段階とした